発行月：平成31年1月　**家族新聞**　第577号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

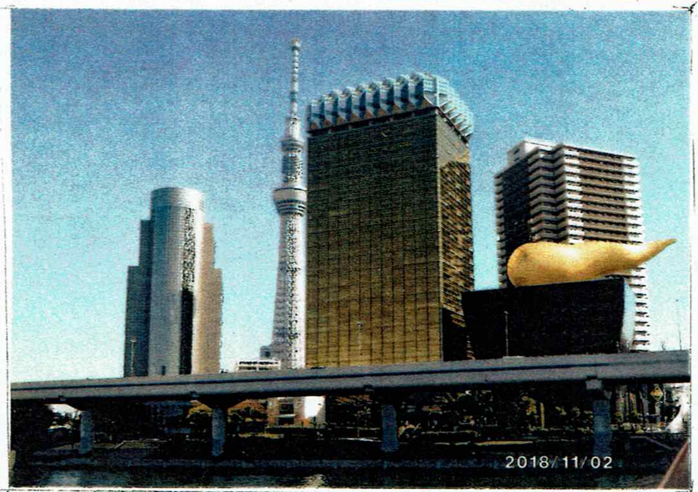
発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

「平成浅草ぶらり旅」（東京都台東区）

平成元年「金のオブジェ登場」

東京観光で外せない浅草はいつ訪ねてもにぎわう江戸情緒あふれる門前町。浅草寺があり、隅田川が流れ、季節を告げる祭りや多彩なイベントも魅力である。今や浅草名所となった金のオブジェを撮影する人があとを絶たない。

そのユニークな形状で完成当初より話題をよんだ正体は「フラムドール」（仏語で金の炎）聖火台にたなびく炎をイメージしている。

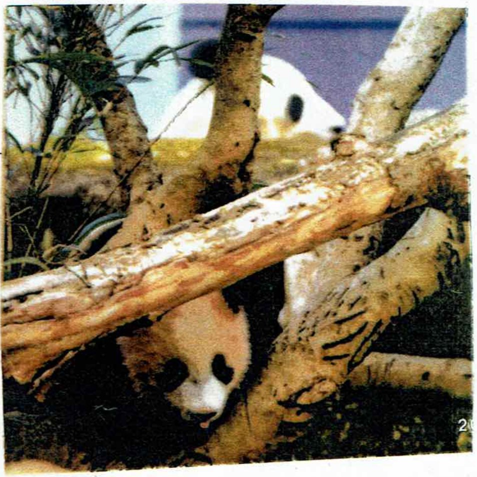

2018/11/02

一九八九（平成元）年アサヒビール創業百周年を記念して建設された「スーパードライホール」その屋上に突如現れた全長約四十四メートルものオブジェは、フランスのデザイナー、フィリップ・スタルク氏によるもの。

▲スカイツリーとアサヒビール本社。

2018/11/02

▲浅草寺



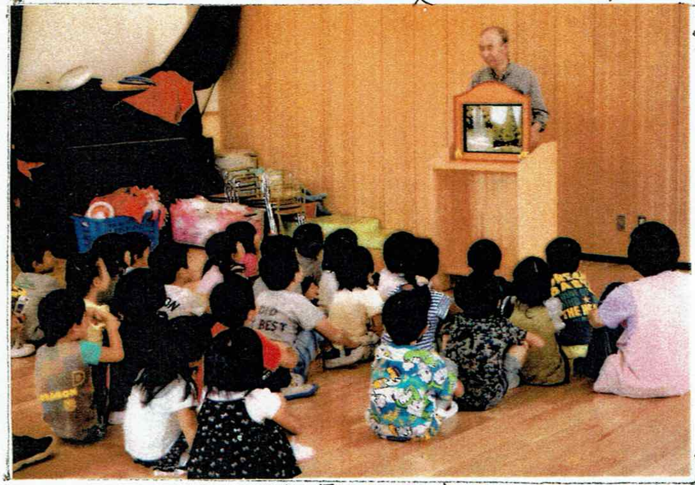
▶上野動物園シャンシャン

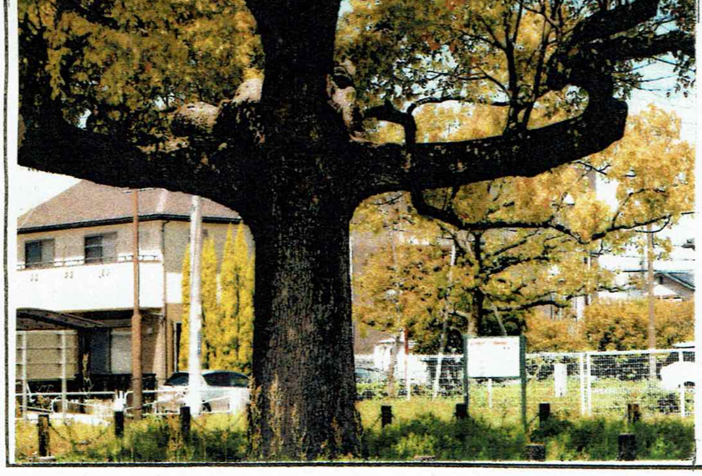
この金の炎は、外国旅行者向けのガイド本「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」にも星付きで掲載。その建造は日本の造船技術が発揮されたオブジェと紹介されている。

同じ平成元年に竣工した隣接のアサヒグループ本社ビル「アサヒビールタワー」は、展望のよいレストランも備えた二十二階で、琥珀色のガラスと頭頂部の白い外壁で、泡のあふれる巨大ジョッキをイメージしている。

大ヒット商品「アサヒスーパードライ」が発売されたのは、この二年前。昭和から平成へ、ビール業界は熾烈な「ドライ戦争」真っただ中にあった。

雷門向かいの「浅草文化観光センター」で気軽に探せ、隈研吾さんデザインの居心地のよい空間で展望テラス（八階、無料）からは浅草の意外な夜景も楽しめる。





▼「渋川福祉センタ くすの木」

AICHI TOYOTA
2018/05/06

▶「浅草文化観光センター」の隈研吾氏設計の高辻の愛知トヨタ 木の空間がすばらしい。